

んだすな

3
2008.MARCH



子育て相談室などへ
お手伝いについて子どもたちと
触れ合っています

地域で支え合うことの大切さ伝える

大館女性ボランティア のぎくの会(大館市)

地域で支え合うことの大切さ伝える

大館女性ボランティア のぎくの会(大館市)

今回は毎月2カ所の高齢者福祉施設、2カ所のミニデイサービス、スーパーでのお話し会を定期的に行い、そのほかにも要請があるとどこにでも、どんなことにも協力を惜しまない活発な女性ボランティアのみなさんをご紹介します。

のぎくの会は昭和52年に大館市主催ボランティア養成講座の受講生有志で昭和57年に発足しました。「幼児・児童の健全育成」と「高齢者福祉の向上」を目的としています。会員は37名で50～70歳代の女性と男性7名の力強い協力者とともにお互いに理解し合いながら活動しています。

高齢者福祉施設への定期訪問は、会が結成される以前の昭和54年から始まり来年で30年になります。また、昭和56年から障がい児との交流も続けていて、手作りの大型紙芝居や人形劇を披露しています。手作りの紙芝居や指人形は定例会などで会員同士が力を合わせて作り上げたものです。紙芝居最新作「ちから

たろう」をはじめ、現在では約10作品となりました。

会では、会員が得意とすることを活かして、定期訪問で歌や踊りを披露したり、定例会で小物作りをしたりして楽しみながら活動できるように工夫し交流も深めています。また、年1度ほかの地域の福祉施設などの慰問と研修会を実施しスキルアップを図っています。

長い間活動を続けるのは大変なことです。継続の秘訣とも言える活動の魅力を会長の丸屋さんにお聞きしたところ、「福祉施設利用者からは『優しさより良く生きることの尊さ』を学んでいます。体力に自信のなかった私がそれ以来どうにか健康に恵まれています。会員からは『活動に携わったら元気になったねって友人から言われた』長年の施設訪問の経験が両親の介護に役立った』と感謝されることもあります。これまでの活動で、巡り巡って自分により報いがくるという情けは人の為ならず』を実感しています。また、「瞳を輝かせて紙芝居や劇を熱心に見てくれる子ども達からは、湧きあがる新し



福祉施設で行われた行事「読書とスポーツの秋」で大型紙芝居「つるになったきつね」を披露



スーパー内ちびっこ広場では読み聞かせ会を定期的に関催。写真はパネルシアター「3びきのこぶた」



人形劇「こぶとりじいさん」の公演や手作りの鬼の面をかぶり園児たちにパフォーマンス



会員同士の交流を深めるため新春の集いを行っています

い力、元気をもらっています。」と微笑んでいました。「どんな苦しみにも耐えて行けるお子さんに成長してもらいたい。」と願いながら活動しているという丸屋さんの誰にでも感謝の気持ちを忘れず、笑みを絶やさぬ人柄が印象的でした。

近年では、あちこちから声がかかり忙しくてつらい時もあるそうですが「時代の要請」と受け入れる姿勢には頭が下がります。

少子高齢化、核家族化が進んでいくなか、会では地域とのコミュニケーションを深め、ネットワークを張り巡らせ、ともに助け合っていくことが大切と想いを強くし、地域に根ざした活動を展開しています。

大館女性ボランティア のぎくの会

会長/丸屋 千鶴子 会員/37名 設立/昭和57年
問 TEL.0186-42-7396

助成金獲得しているは

秋田県の平成19年度第1回ボランティア・市民活動支援助成金(器材整備)を活用されているので、詳しい内容についてお聞きしました。

考えた時期や理由—

定期的におはなし会を行うようになり、活動内容の充実が必要となりました。

活用方法—

おはなし会などで使用できるようにパネルシアターやエプロンシアター、大型絵本を購入しました。

申請に当たり留意したこと—

おはなし会などで長く活用できるもの、みんなに親しみ続けられるようなものを選びました。早速子どもたちに披露して喜ばれています。

十数年前は購入できた器材が、今回は認められなかったのが残念でした。



定例会で小物作りをしてプレゼントにしたりバザーに利用しています



イベント情報

大館市

新生大館市活力推進シンポジウム

日時：3月21日(金)13:30～16:30

会場：大館市民文化会館中ホール

内容：基調講演『環境先端都市・大館』のブランド化 講師/水津陽子氏(合同会社フォーティR&C 代表)

環境への取り組み表彰式 パネルディスカッション

問 主催：大館市役所企画振興課

TEL.0186-49-3111(内線 269)

秋田県

秋田県ボランティア・市民活動

研究集会 in あきた

「明日に向かって伝える・・・そして、つなげる」

日時：3月22日(土)10:00～15:30

会場：【第一会場】秋田県心身障害者総合福祉センタ

ー【第二会場】秋田県社会福祉会館

内容：分科会 A「ことば以外のコミュニケーション手法」ファシリテーター庄崎隆志氏、分科会 B「秋田県民のDNAを考える」ファシリテーターあべ十全氏、分科会 C「ボランティア活動・・・これからの伝え方」ファシリテーター鈴木実氏

問 主催：申込：秋田県ボランティア団体連絡協議会

TEL.018-864-2799 FAX.018-883-4218

秋田県

環境問題とエネルギー

～気象の異変と私たちの暮らし～
地球温暖化から花粉症まで

日時：3月23日(日)13:30～15:00

会場：秋田県生涯学習センター

講師：村山貢司氏(気象予報士)

受講料：無料 どなたでも参加できます。

主催：時事通信社秋田支局

問 秋田県生涯学習センター

TEL.018-865-1171 FAX.018-824-1799

地域ほっとにゅーす

あきたエコマイスター県北協議会が活動の輪を広げています

あきたエコマイスターをご存知ですか?秋田県が平成16年から環境問題を学ぼう!と環境あきた県民塾を各地で開催しています。県民塾修了者は、環境保全活動を実践する人材「あきたエコマイスター」として県に登録されます。

登録された方がお互いに情報交換しながら技術向上のための場を構築しよう!とあきたエコマイスター県北協議会を昨年5月に発足しました。

これまでに3回の活動を行ってきました。9月は、北秋田市で「マイバック持参で買い物をして地球温暖化防止に貢献しましょう」と題して講演と店頭前での呼び

かけを行いました。11月は、能代市を会場に講演会と省エネに取り組む施設を見学し環境問題やごみの減量に意識を高めました。今年2月23日には、大館市で「広げよう活動の輪 講演と環境活動体験発表」を開催しました。大館市の環境問題への取り組みについて講演後、体験発表が行われました。

今後は、19年度県民塾終了の新しいあきたエコマイスターの皆さんを迎え、4月開催予定の総会を経て、能代、北秋田、鹿角、大館地区ごとに充実した活動が期待されます。

あきたエコマイスター県北協議会

(会長/野口常介)

問 TEL.0186-63-0656

大館市 春の渡り鳥観察会

日時：3月23日(日)集合時間8:20

集合場所：大館市中央公民館(大館市桜町)

内容：長木川～米代川の水辺の鳥観察

申し込みは、原則として1週間前までにメールを下さい

問 主催：大館自然の会

E-mail hide3@d5.dion.ne.jp

秋田県

平成19年度まちづくり県民フォーラム

～市民まちづくりとまち再生を考える～

日時：3月24日(月)13:00～16:30

会場：明德館ビル2階 カレッジプラザ講堂(秋田市中通)

内容：基調講演「市民まちづくりのマネジメントと支援方策」講師/古田 篤司氏(新開地まちづくりNPO事務局長)、県内まちづくり活動事例発表(ゼロダテ/大館展2007、秋田市新屋表町のまちづくり、秋田ほっとHOTクリスマスフェスタ、仲小路JAZZフェスティバル、増田「蔵の会」によるまちづくり)

参加費：無料 定員：210名

申込締切：3月18日(火) 定員になり次第締切)

駐車場：フォーラム参加者向けに日赤跡地を無料解放します。ご利用下さい。

問 申込：秋田県建設交通部 建築住宅課 市街地整備班

TEL.018-860-2566 FAX.018-860-3819

E-mail : kjsigait@mail2.pref.akita.jp

能代市

～ひと・まち・こころ県民ネットワーク会議～

和田行男氏講演会

日時：3月26日(水)14:00～17:00

会場：能代山本広域交流センター(能代市)

内容：演題「地域密着とひと・まち・こころ」講師/和田行男氏(「大逆転の痴呆ケア」の著者、株大起エンゼルヘルプクオリティマネージャー)

定員：200名(先着順)

後援：山本地域振興局福祉環境部

問 主催：申込：バリアフリーコーディネーター県北部連絡会(櫻庭さん)

TEL.0185-53-5667 FAX.0185-74-6020

美の国あきたHP 組織別案内 山本地域振興局

山本地域振興局福祉環境部 お知らせ

大館市

おかねのいらぬ子どものあそびば!

カエッコヤ

日時：3月29日(土)13:00～15:00

会場：秋田県北部男女共同参画センター(大館市大町)

内容：かえっこでは「カエルポイント」という世界共通の「子ども通貨」(遊びの通貨)を使い、いらなくなったおもちゃを使って楽しい活動を作り出すシステムです

問 秋田県北NPO支援センター(担当/あおやぎ)

TEL.0186-49-3485 FAX.0186-49-8589

大館市

国際交流セミナー

「空腹を忘れるために」DVD上映会と講演会

日時：4月17日(木)13:30～16:30

会場：秋田県北部男女共同参画センター(大館市大町)

内容：アフリカのケニアで路上で生活するこどもたち、ストリートチルドレンのドキュメンタリー映画鑑賞と、貧しい子供たちの学費支援を行なっている組織「モヨ・チルドレン・センター」主宰者の松下照美さんによる講演会

参加費：無料

問 秋田県北NPO支援センター(担当/田畑)

TEL.0186-49-3485 FAX.0186-49-8589

情報ありがとうございました!

情報をお寄せいただいたものの、発行日の関係で掲載が出来なかった内容をお知らせします。ぜひ、今後も情報をお待ちしております。

「第33回こども冬まつり」

2月3日開催<主催>NPO法人青年クラブのしろ

「第17回定期公演 夢みたものは」

2月22・23日開催<主催>演劇を楽しむ会

お知らせ

あきたクリーンパートナー募集

秋田県内で環境美化活動に取り組んでいる住民団体や町内会、学校、企業等をあきたクリーンパートナーとして登録し、清掃用具等を提供することにより、その活動を支援することとしました。

登録方法：構成員が5人以上で県内で環境美化活動に取り組んでいる団体。ホームページ掲載の申請書様式にご記入のうえ、ファックスまたは電子メールでご提出ください。

問 秋田県生活環境文化部環境整備課

TEL.018-860-1622 FAX.018-860-3856

美の国あきた HP [くらし・環境](#) 自然・環境 環境美化活動

山本地域振興局 県民交流サロンについて

秋田県山本地域振興局職員会館内に、地域でボランティア・市民活動を行う団体が交流や情報発信、会議などに利用することのできる県民交流サロンを設置しています。地域住民自らが地域づくり活動を行うことを目的に、次の形態で利用することができますのでご利用ください。

活動交流 活動情報発信(掲示板等を活用して) 活動場所(会議、研修、作業等のスペースとして) 活動展示(県民運動等の展示スペースとして)

【設置場所】秋田県山本地域振興局 職員会館 1階

【利用時間】原則として、土曜日、日曜日、祝祭日及び年末年始の期間を除く日の、午前9時から午後5時まで。

【利用方法】あらかじめ利用団体としての登録が必要。

詳しくは山本地域振興局県民生活班までご確認ください。

問 秋田県山本地域振興局 総務企画部 地域企画課 県民生活班

TEL.0185-52-6285 FAX.0185-55-2296

「子ども・子育て支援活動計画書」を提出してみませんか？

山本地域振興局福祉環境部では、子どもや子育てに関連した活動をしている団体の皆様に対して「子ども・子育て支援活動計画書」の提出を呼びかけています。

計画書を提出していただいた団体には「子ども・子育て支援推進能代山本地区協議会」に参画いただき、地域の課題の話し合いや啓発事業(イベント等)を実施する等の活動をしています。

計画書の様式や内容に関しては、下記担当までお問い合わせください。

問 山本地域振興局 福祉環境部

TEL. 0185-52-4331 FAX.0185-53-4114

美の国あきた HP [組織別案内](#) 山本地域振興局 山本地域振興局福祉環境部 [お知らせコーナー](#)

「鉄道の楽しみ方」をお話しします！

秋田内陸線プロモーションでは、鉄道の楽しみ方をテーマに講話(60分くらい)を受けています。さまざまなサークル等のお話しさせていただきます。ご依頼お待ちしております。

問 秋田内陸線プロモーション(代表/佐藤和博)

TEL.0186-49-3485(青柳まで)

募 集

第60回保健文化賞募集

助成対象：保健衛生(関連する福祉等を含む)を実際に著しく向上させた団体、あるいは個人、または、向上に著しく寄与する研究または発見をした団体、あるいは個人

表彰：厚生労働大臣賞(表彰状)、第一生命賞(感謝状：賞金 団体 300万円、個人 150万円)ほか

応募条件：応募用紙は規定の用紙を使用すること 必ず推薦者を通じ提出のこと

応募締切：4月11日(金)

問 第一生命保険相互会社

CSR推進委員会事務局 社会文化事業室

安部・古川・高原

TEL.050-3780-3244

<http://www.dai-ichi-life.co.jp/company/activity/kenkou/hoken/>

小説を募集～NHK銀の零文芸賞～

「NHK銀の零文芸賞」では、高齢社会をどう生きるか？生きがい、介護、世代間の交流など時代の流れを生き抜く人間模様を、豊かに力強く描いた小説を募集しています。

応募締切：5月12日(月)

応募資格：著作を職業としている方はご遠慮ください。

形式：小説(短歌、俳句、詩、エッセイ、シナリオのみの作品は対象外)400字詰め原稿用紙30枚以内

表彰：最優秀作品はラジオドラマ化する予定です。

最優秀 1編(賞金30万円)、優秀 2編(賞金10万円)

問 NHK厚生文化事業団「銀の零」係

http://www.npwo.or.jp/info/2008/nhk_3.html

第38回「毎日社会福祉顕彰」募集

全国の社会福祉関係者および団体のなかから、とくに優れ

た功績をあげ、社会福祉の発展向上に貢献している個人あるいは団体を顕彰し、新しい福祉国家の形成と進展に寄与するねらいです。

応募資格：学術や技術などの分野で社会福祉活動を行う個人及び団体

表彰：3件(賞牌と賞金 賞金は総額 300万円)

応募締切：5月31日(土)

問 財団法人毎日新聞東京社会事業団

TEL.03-3213-2674 FAX.03-3213-6744

http://www.mainichi.co.jp/shakaijigyo/mai_contents_fuku.html

社会貢献者表彰推薦募集

国の内外を問わず、社会と人間の安寧と幸福のために貢献し、顕著な功績を挙げられながら、社会的に報われることの少なかった方々を表彰させて頂き、そのご功績に報い感謝することを通じてよりよい社会づくりに資することを目的としています。

対象功績：人命救助の功績 社会貢献の功績 特定分野の功績

応募締切：5月31日(土)

問 社会貢献支援財団

TEL.03-3502-0910 FAX.03-3502-7190

fesco@mve.biglobe.ne.jp

助成金

改修による福祉拠点の整備事業

助成対象：財団法人、社団法人、社会福祉法人、NPO法人、ボランティア団体などが行う非営利活動・公益事業

助成内容：(1)既存建物の改修による新規拠点の整備(2)既存福祉施設の一部改修による新規福祉サービス拠点の整備(3)既存福祉施設の改装(4)障害者就労支援に係る機器の整備

助成金額：対象事業により、限度額や補助率が違います。

応募締切：3月17日(月)～4月16日(水)

問 日本財団 コールセンター

TEL.03-6229-5111 FAX.03-6229-5330

http://www.nippon-foundation.or.jp/kyotu_site/zyoseikin/g_bosyu_kaishu_01.html

2008年全労済地域貢献助成事業

助成対象：日本国内を主たる活動の場とし、環境分野・子ども分野で活動しているNPO法人、任意団体等(NGO、ボランティア団体等)

助成金額：【環境分野】一般助成 上限額 30万円、特別助成 上限額 100万円【子ども分野】助成 上限額 100万円

応募締切：3月27日(木)～4月10日(木)

問【環境分野】特定非営利活動法人地球と未来の環境基金

TEL.03-5298-6644 FAX.03-5298-6635

【子ども分野】社団法人日本フィランソロピー協会

TEL.03-5205-7580 FAX.03-5205-7585

<http://www.zenrosai.coop/zenrosai/topics/2008/080219.php>

ヨネックススポーツ振興財団

助成対象：青少年スポーツの振興に関する事業を積極的に行い、奨励し、または自ら行い、かつ3年以上継続して活動しているなどの幾つかの要件を満たした団体とします。

助成対象：事業予算の2分の1で概ね100万円以内

応募締切：4月20日(日)

問 財団法人ヨネックススポーツ振興財団事務局

TEL.03-3839-7195 FAX.03-3839-7196

<http://www.yonex.co.jp/zaidan.html>

みずほ教育福祉財団

第25回「老後を豊かにするボランティア活動資金」

助成対象：地域社会で高齢者のための活動をすすめている幅広いボランティアグループ(住民参加型在宅福祉サービス団体等を含む)で、次の要件を満たすもの。ボランティア数10人～50人程度 結成以来の活動実績2年以上 ただし、次の団体は対象外 本助成を過去3年以内にうけたことのあるグループ 老人クラブ 社団法人、財団法人、社会福祉法人、特定非営利活動法人(NPO法人)等の法人格を有する団体

助成金額：1グループにつき10万円を限度とし、150グループ程度

応募締切：5月31日(土)

問 財団法人みずほ教育福祉財団

TEL.03-3596-4532 FAX.03-3596-4531

<http://www.mizuho-ewf.or.jp/>

平成20年度 ボランティア・市民活動支援助成金、元気なふるさと秋田づくり活動支援事業について

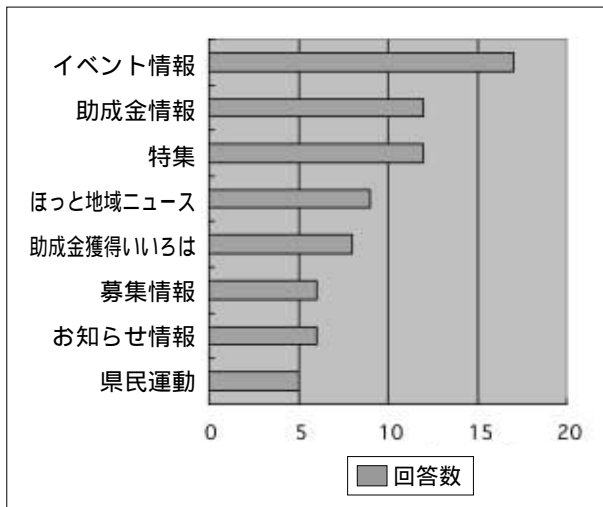
秋田県ではボランティア・市民活動や地域づくり活動に取り組む団体を支援します。詳しくは3月25日以降にお問い合わせください。

問 秋田県生活環境文化庁地域活動支援室

TEL.0186-860-1520 FAX.0186-860-3892

アンケート結果報告

19年度「んだすな」アンケート結果のご報告について
興味深く呼んだコーナーは?(複数回答可)



これまでに掲載した記事の中で、あなたの印象に残っている記事は何ですか?

特集では、鷹巣安全な石けんを広める会 さぶる(北秋田市)2007.2月号、大館自然の会(大館市)2007.5月号、秋田内陸線プロモーション(秋田市)2007.8月号、能代べらぼう太鼓(能代市)2007.8月号、のしる音あそび実行委員会(能代市)2007.12月号、かづの21プラン(鹿角市)2008.2月号、ほか同種の活動をしている団体、イベント情報、利用できそうな助成金獲得活動など。 1

今後取り上げてほしい市民活動団体等があればご記入ください。

演劇を楽しむ会(鹿角市)、つどいの広場「ぶらんこ」(能代市)、歴史ガイドの会、地域・商店街・合併後の市町村などを活性化に成功した市民活動団体やシニア活

動、地域環境づくりボランティア、不登校の生徒や引きこもりの青年の支援団体など。

情報はどこから入手しますか?
新聞、地域の広報紙が多かったです。

で入手している情報は?今後知りたい情報は?
それぞれの活動に関する情報が多く寄せられました。

ご意見・ご感想・ご要望など自由にご記入ください。

- ・2月号の表紙は時季にマッチした表紙を希望する。
 - ・開催地の市町村名を入れてほしい。また、市町村ごとに分けてほしい。
 - ・他地区ボランティア団体との交流会などで情報交換をし、連携を保ちながらそれぞれの活動に反映、向上が図れること。
 - ・ボランティアに興味をもった人が「よさそうな」ボランティアを見つけ、自分で連絡をしてスタートができるようネットワークづくりが出来ることを切望する。
 - ・北部の市民活動団体の一覧表があればよい(趣味の団体除く)。 2
 - ・「まちづくり」や「趣味のサークル」を紹介してほしい。
 - ・長年継続して活動している団体、地域に大きく貢献している事業・団体などの紹介は最も大きな励みになる。
 - ・成功事例だけではなく、反省や課題を正直に知り合えると言うことは次への事業の自信につながるように思う。
 - ・県北の各地域に情報委員(編集委員)をお願いし、「んだすな」のネットワークを築いてみてはどうか。
- 率直なご意見、ご要望、励ましの言葉をお寄せいただきありがとうございました。皆様の貴重な言葉を参考に今後活かしていきます。

- 1 「んだすな」のバックナンバーをご覧になれます。
- 2 北部の市民活動団体を検索できます。

関連情報も満載ですので、ぜひ、ご活用ください。

市民活動情報ネット

http://www.akita-kenmin.jp/npa/index_2.asp

<編集後記> 草木が芽吹きだし春めいてきました。はやいもので今年度最後の「んだすな」です。ご協力くださいました皆様、ご愛読くださいました皆様に心より感謝しお礼申し上げます。今後もいろいろなカタチでつながっていただけることを願っています。

北部市民活動サポートセンターは秋田県から委託を受けて、特定非営利活動法人秋田県北NPO支援センターが運営しています。

北部市民活動サポートセンター(北部男女共同参画センター内)

活動団体を応援!

北部男女共同参画センターでは、打ち合わせや会議ができます。コピーができます。パソコンが使えます。貸し出し図書があります。

利用の際、団体登録が必要になる場合があります。また、利用内容によって料金がかかりますので、詳しくはお問い合わせください。

〒017 0841
秋田県大館市字大町57
TEL 0186 49 8553
FAX 0186 49 8589
http://www.akita-kenmin.jp/north_support_center/

